

研究課題名「当院における特発性大腿骨頭壊死症の疫学調査」に関する情報公開

1. 研究の対象

2004年1月から2017年8月までの期間に当院に受診歴のある特発性大腿骨頭壊死症患者

2. 研究目的・方法

特発性大腿骨頭壊死症は若年成人に好発し、壊死範囲が大きい場合には早期に圧潰を生じ股関節の疼痛や機能障害を生じる。特発性大腿骨頭壊死症は大腿骨頭の虚血が原因と考えられており、その病態として凝固異常、高脂血症、血管炎、酸化ストレス等の関与が指摘されている。本疾患はステロイド全身投与歴や大量飲酒歴、喫煙歴、肝疾患既往等のある患者ではその発症リスクが高くなることが報告されているが、各リスク因子と疾患発生の関係については明らかにされていない。本研究の目的は当院における特発性大腿骨頭壊死症患者の疫学調査を行うことである。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、発症時期、基礎疾患、ステロイド投与歴、嗜好品、現病歴、現症、理学的所見、画像評価、治療方法、採血結果(凝固値、コレステロール値、炎症反応、肝機能等) 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 052-744-2111

名古屋大学院医学系研究科 運動・形態外科学講座 整形外科学 大倉 俊昭

研究責任者：名古屋大学院医学系研究科 運動・形態外科学講座 整形外科学 関 泰輔